

2017年8月1日

ヘドリー・スウェイン氏ワークショップ及び講演会
「イギリスにおける文化政策の動向とオリンピック文化プログラム」

1. 趣旨

2019年ICOM京都大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム実施に向けて、世界的に文化政策で有名なアーツカウンシル・イングランドにおいて、博物館に関する責任者の地位にあるヘドリー・スウェイン氏を招へいし、イギリスにおける最新文化政策動向について講演会及びワークショップを開催し、我が国の今後の博物館事業の発展や国際発信力の向上、人材の育成に資する。

2. 日時

〈ワークショップ〉平成29年9月22日（金） 13:30～17:00

〈講演会〉平成29年9月23日（土） 13:30～16:00

3. 会場

〈ワークショップ〉京都国立博物館平成知新館大会議室（京都市東山区茶山町527）

〈講演会〉京都国立博物館平成知新館講堂（同）

4. 主催

ICOM京都大会組織委員会、ICOM日本委員会、公益財団法人日本博物館協会、京都国立博物館（文化庁「外国人芸術家・文化財専門家招へい事業」）

5. 共催

全日本博物館学会、ブリティッシュ・カウンシル

6. 後援

アート・ドキュメンテーション学会

7. 参加人数

〈ワークショップ〉30名（9月5日（木）までにメールで事前申し込み、先着順）

〈講演会〉200名

8. 参加費

無料

9. 通訳

〈ワークショップ〉基本的に英語で進行する、ICOM京都大会準備室がサポート

〈講演会〉井上由佳（文教大学准教授）氏による逐次通訳あり

10. 連絡先

ICOM京都大会準備室 渡邊、チョウ

〒605-0931 京都府京都市東山区茶屋町527 京都国立博物館内

電話: 075-561-2127

Email: office@icomkyoto2019.kyoto

【プログラム案】

平成29年9月22日（金）ワークショップ

- 13:30-13:40 開会あいさつ
13:40-13:50 趣旨説明
13:50-14:50 報告「ロンドンオリンピック文化プログラムと博物館 (仮)」
Hedley SWAIN
アーツカウンシル・イングランド博物館事業総括責任者代理
14:50-15:00 休憩
15:00-16:50 ワークショップ「博物館で文化プログラムを実施しよう！」
16:50-17:00 閉会あいさつ

平成29年9月23日（土）講演会

- 13:30-13:35 開会あいさつ
13:35-13:40 文化庁地域文化創生本部あいさつ
13:40-13:50 趣旨説明
13:50-15:20 講演「イギリスにおける最新文化政策動向(仮)」
Hedley SWAIN
アーツカウンシル・イングランド博物館事業総括責任者代理
15:20-15:50 質疑応答
15:50-16:00 閉会あいさつ

【参考】

■英国アーツカウンシル（Arts Council of Great Britain, ACGB）

第二次世界大戦後間もない1946年、戦争への反省と新たな国づくりを目指して発足した。初代会長となった経済学者のケインズは、ナチス・ドイツが芸術を政治的に利用したことに異を唱え、政府から一定の距離を置く「アームズ・レンクスの法則」を提唱、同時に芸術家に対するリスクを重視する考え方を打ち出した。1994年、ACGBはイングランド、ウェールズ、スコットランドの3地方に分割され、アーツカウンシル・イングランドは最大規模である。アーツカウンシル・イングランドは、2012年ロンドンオリンピックの際、地球規模で文化、博物館などの専門家と連携し、様々なプロジェクトを推進し、文化プログラムを実施した。

■ヘドリー・スウェイン(Hedley SWAIN)

ヘドリー・スウェイン氏は、長年にわたりイギリスの文化及び博物館政策を担っている政府系機関であるアーツカウンシル・イングランドにおいて、世界各国の文化政策及び博物館の交流に従事し、これまで、イギリスMLA（博物館、図書館、アーカイブ）の統合やロンドンオリンピックにおける文化事業を担当し、多数のプロジェクトに参画し、2017年より総括責任者（代理）の地位にある。